

財政健全化計画(一般会計)の収支計画の見直しについて (主な変更点等)

財政健全化計画の収支計画について、平成22年度予算案等を踏まえ見直しを行いました。

平成22年度の当初予算は収支均衡となっており、それに基づく平成22年度末の累積赤字額は平成21年度末見込みと同額の4億9,200万円となりますが、年度開始後の予算執行における経費節減等により、単年度収支を現行計画と同額である3億7,400万円の黒字とし、累積赤字額を1億1,800万円とすることを目標とします。

また、平成23年度以降は平成22年度予算案等を踏まえ以下の前提条件で試算しました。

1 歳入

(1) 地方税

H22年度予算等を踏まえ次により試算した。(現行計画はH21予算等をベースに試算)

税目		現行の財政健全化計画 (H22以降の算定)	今回の試算 (H23以降の算定)
現 年 分	個人市民税	H21予算をベースにH22以降、毎年度3%減	H22予算をベースにH23以降、毎年度3%減
	法人市民税	H21予算と同額	H22予算と同額
	固定資産税 都市計画税	平年は増加を見込まずH21予算と同額、評価替え年度(H24)は固定資産税3%減、都市計画税4.2%減 (※H21固定資産税▲3%、都市計画税▲4.2%)	H23はH22予算と同額、評価替え年度であるH24は固定資産税3%減、都市計画税4.2%減
	軽自動車税	H21予算と同額	H22予算と同額
	たばこ税	H21予算をベースにH22以降、毎年度1%減	H22予算をベースにH23以降、毎年度5%減
	入湯税	H21予算をベースにH22以降、毎年度3%減	H22予算をベースにH23以降、毎年度3%減
	滞納繰越分	H21予算と同額	H22予算と同額

(2) 譲与税・交付金

経過措置がある特例交付金を除き、H23以降はH22予算と同額とした。
(現行計画同様)

(3) 地方交付税

H22予算をベースとして以下により試算した。(現行計画はH21予算をベース)

H21の地域雇用創出推進費の小樽市配分額を参考に、H22の地方財政計画で単年度限りのものとして別枠で加算することとされた「地域活性化・雇用等臨時特別費」に係る本市への配分予定額を5億円と見込み、H23はこれを控除したうえで、H22国調人口減を反映し3%減とした。H24はH23と同額とした。

(4) 国・道支出金

歳出の動向等を勘案して試算した。
(子ども手当に係る国庫支出金 (H23)3,590、(H24)4,056百万円)

(5) 繰入金

財源対策の一つとして下水道事業からの借入を計上した。

今回試算 (H23) 762、(H24) 781百万円
現行計画 (H23) 680、(H24) 700百万円

(6) 地方債

① 臨時財政対策債

H23はH22国調人口減を反映し、3.0%減とした。H24はH23と同額とした。
(現行計画同様)

② 退職手当債

職員給与費の再算定に伴い、退職手当債借入額を変更した。

今回試算 (H23) 515、(H24) 666百万円
現行計画 (H23) 560、(H24) 667百万円

2 歳出

(1) 人件費

職員給与費

- ・職員給与～独自削減、期末手当削減・加算凍結の継続を見込んでいる。
(財政状況を見ながら単年度ごとに見直し)
- ・職員数 ～ H21までの退職者(定年)については、
一定の配置基準が定められている消防職員等を除き翌年度不補充。
・H22以降の退職者(定年)については、
翌年度に { (退職者 - 現業職退職者) × 1/2 } 名を採用。
現行計画どおり上記を基本とするが、H22予算での共済費の掛率アップ分及び
子ども手当の支給を考慮してH23以降を試算した。

(2) 扶助費

H22予算をベースにH23以降毎年度300百万円増を見込んだ。
(現行計画はH21予算をベースに毎年度200百万円増)
子ども手当分を計上 (H23) 3,590、(H24) 4,056百万円)

(3) 公債費

H20決算、H21予算・H22予算、H23以降の借入れ見込みなどから再度試算を行った。

(4) 補助費等

- ・北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 現行計画より 各年度 ▲約33百万円
- ・石狩湾新港管理組合負担金 " 各年度 ▲約13百万円
- ・後期高齢者医療療養給付費負担金 " 各年度 +約15百万円

(5) 普通建設事業費

総合計画の実施計画に位置付けられている主な事業や、現時点で実施年度・事業費が見込める建設事業費を計上した。

(6) 物件費、維持補修費、積立金

事務事業の見直し必要額を物件費に計上した。(歳入増や歳出削減の取組が必要)

今回試算 (H22) 374、(H23) 300、(H24) 300百万円
現行計画 (H22) 500、(H23) 500、(H24) 500百万円

(7) 繰出金

- ① 国保 - H23以降はH22予算と同額(現行計画 H22以降はH21予算と同額)
- ② 介護 - 介護保険事業計画に基づき試算
- ③ 後期高齢医療 - 現行計画より各年度約3百万円増
- ④ 病院 - 現行計画と同様に病院改革プランに基づき計上
(H22予算から子ども手当に係る繰出金を加算)

財政健全化計画(一般会計)の収支計画

【平成22年3月見直し】

単位:百万円

区 分	H23以降の収支試算の主な前提条件 (H18～H20は決算、H21は最終予算、H22は当初予算をベースとした見込み)	H18 決 算	H19 決 算	H20 決 算	H21 最終予算	H22 見込み	H23 見込み	H24 見込み
地方税	個人市民税は毎年度3%減、法人市民税はH22予算と同額、固定資産税・都市計画税はH24評価替えによる減	14,418	15,098	15,307	14,931	13,996	13,821	13,433
譲与税・交付金(交通安全対策含む)	経過措置がある特例交付金を除きH22予算と同額	3,669	2,408	2,261	2,172	2,141	2,185	2,167
地方交付税	H23はH22の別枠加算分(5億円と見込む)を控除したうえで、国勢調査人口を考慮し減 H24はH23と同額	15,409	14,788	14,934	15,509	15,916	14,954	14,954
分担金及び負担金、使用料及び手数料	H22予算と同額	1,579	1,493	1,462	1,485	1,400	1,400	1,400
国・道支出金	歳出に伴う歳入を計上	10,869	11,775	12,098	13,817	13,785	15,619	16,061
財産収入、寄附金	H22予算と同額(教育費寄附金除く)	215	248	232	151	86	89	89
繰入金	基金取崩及び他会計からの借入れ	825	891	1,104	1,223	675	788	807
諸収入	貸付金収入などの減を考慮	10,968	4,294	3,329	3,325	3,138	2,978	2,960
地方債		3,011	3,128	3,897	4,888	4,252	5,403	4,633
臨時財政対策債	H23は国勢調査人口を考慮し減 H24はH23と同額	1,308	1,186	1,111	1,725	2,602	2,524	2,524
減税補てん債、減収補てん債		120	174	12	40			
退職手当債	退職手当に基づき算出	444	854	524	891	795	515	666
公的資金借換債	公的資金の借換え		267	1,050	724			
普通建設事業分等	普通建設事業等の財源としての市債の借入れ	1,139	647	1,200	1,508	855	2,364	1,443
歳入合計	①	60,963	54,123	54,624	57,501	55,389	57,237	56,504
人件費	職員数:H22以降は現業職を除く定年退職者の半数程度を補充 給与:独自削減、期末手当削減・加算凍結などを継続 共済費:掛率アップ分を考慮	10,964	10,783	9,969	9,878	9,693	9,261	9,201
扶助費	H23以降は毎年度3億円増	14,194	14,457	14,782	15,439	16,897	19,045	19,681
公債費	市債の借入れ、H19～H21の公的資金の借換えを考慮	7,781	8,055	8,496	7,861	6,912	6,964	7,063
補助費等	他会計・基金からの借入れに伴う償還金、北しりべし廃棄物広域連合負担金、後期高齢者医療療養給付費負担金などを考慮	2,310	3,137	4,752	4,731	5,054	4,471	4,529
普通建設事業費(災害復旧事業費含む)	総合計画の実施計画に位置付けのある事業や、現時点で見込まれるものを計上	1,474	1,082	1,168	2,468	1,267	3,212	2,071
投資及び出資金、貸付金	制度融資などの貸付けを考慮	10,353	2,803	2,738	2,846	2,637	2,600	2,588
物件費、維持補修費、積立金	事務・事業の見直し等を考慮	4,958	5,163	4,648	5,589	4,678	4,321	4,265
繰出金	国保はH22予算と同額 介護は介護保険事業計画に基づき試算 後期高齢者医療は毎年度増 病院は改革プランを基に基づき計上(H22から子ども手当分加算)	8,705	8,756	7,424	8,522	7,877	7,245	7,106
うち 病院繰出	病院:不良債務解消分を見込む	1,240	1,630	1,751	2,103	1,996	1,345	1,283
歳出合計	②	60,739	54,236	53,977	57,334	55,015	57,119	56,504
単年度収支	③=①-②	224	▲ 113	638	167	374	118	0
累積収支	④ ③の累積	▲ 1,184	▲ 1,297	▲ 659	▲ 492	▲ 118	0	0

※H20決算の単年度収支は、翌年度に繰越す財源(9百万円)を除く